

第76回 教育研究評議会議事要録

日 時 平成22年11月17日(水) 午後1時00分～午後3時03分
場 所 第1会議室
出席者 野口学長、佐久間理事、野口(哲)理事、馬場理事、三野文学部長、塚原理学部長、清水生活環境学部長、岩渕人間文化研究科長、富崎附属図書館長、中島附属学校部長、内田、小路田、荒木、角田、今岡、三木、栗岡、棚瀬各評議員
列席者 今井監事、鈴木監事、外嶋総務・企画課長、大原研究協力課長、水谷財務課長、人見施設企画課長、藤熊学務課長、増間学生生活課長、竹下入試課長、山崎図書課長、小田原国際課課長補佐

議事に先立ち、前回記録を確認。

I 審議事項

1. 奈良女子大学ラウンジ使用規程の制定(案)について

野口理事から、資料1により総合研究棟(文学系S棟)ラウンジ内の什器の配置が決定し、11月24日から学生の利用を開始する予定であること、また、これに伴い具体的なラウンジの使用に係る規程について整備したことの経緯説明の後、規程(案)の内容説明があった。

開館時間及び利用条件等について意見交換がなされ、審議の結果、原案のとおり承認し、本日付で施行し、7月24日から適用することとした。

2. 平成23年度学年暦について

野口理事から、資料2により平成23年度の学年暦について説明があり、審議の結果、原案のとおり承認した。

なお学年暦に関連して、野口理事から、授業時間数が定期試験期間を除き15週確保しなければならないとの中教審答申に従って策定しており、授業週数の増加による非常勤講師手当の件費増が見込まれることから、その対処策を検討していることの説明があった。

また、評議員から、8月の授業を避けるための抜本的な改革を検討する必要性について意見があった。

3. その他

・外国人留学生について

佐久間副学長から、資料により、現行の外国人研究生の受け入れについては、研究生入学希望者から受け入れ依頼を受けた教員の審査後、学務課の受け入れ手続きを経て国際課が入国手続きを行っており、入国手続きの際に問題が生じた場合に対応が遅れてしまうことから、

受け入れ手順の見直しが必要であるとの説明があった。

学長からの補足説明の後、外国人学生の受入体制について意見交換がなされ、今後も引き続き受け入れ体制及び入学資格要件などを検討していくこととし、当面は次のとおりの手順で行うこととした。

- ① 教員が研究生を受け入れる意向を国際課へ連絡する。
- ② 国際課が窓口となり必要と判断された場合は、当該学生へ連絡をとって情報集約を行い、受け入れ教員へ報告をする。
- ③ 受け入れ教員からの連絡を受け、学務課(教授会等)及び国際課において受け入れ手続を行う。

II 報告事項

1. 平成21年度に係る業務の実績に関する評価結果について

学長から、国立大学法人評価委員会から提示された平成21年度に係る業務の実績に関する評価結果(原案)に対し、意見申し立てを行った結果、評価の一部が改訂され、資料3のとおり評価結果の通知があったことの報告があった。

2. 第76回役員会について

学長から、第76回役員会(10月29日開催)の審議概要について報告があった。

3. 人間文化研究科規程の一部改正について

岩渕研究科長から、人間文化研究科代議員会の議に基づき改正された人間文化研究科規程について、資料4により改正内容について説明があった。

4. 第2回オープンキャンパスについて

野口理事から、資料5により11月6日に開催された平成22年度第2回オープンキャンパスの参加者数及びアンケート結果について報告があり、協力に対して謝辞があった。

評議員から、参加者に対するアンケート調査が大学全体のものをはじめ各学部・学科等複数回実施されていることから、これらを一括して参加者の負担軽減を図ってはどうか、また、私立高校が土曜日に授業があり参加できないため、日曜日に開催してはどうかなどの意見があった。

5. 学園祭について

野口理事より、学園祭が11月5日(金)から7日(日)開催され無事終了したことの報告及び協力に対して謝辞があった。

また、学園祭は午前9時から午後9時までの開催時間であるが、夜間の来校者が少なく、また、南門が午後9時まで警備員の立哨もなく開放されており不審者の侵入防止のうえでも見直しが必要であることから、来年度は夜間に開催する必要性について検討する予定であることの報告があった。

6. 平成22年度第1回進路調査結果について

野口理事から、資料6により、10月に実施した平成22年度第1回進路調査結果の報告及び全国の大学(抽出)の就職状況や佐保会東京支部の就職支援について報告があった。

7. その他

(1) 特別講演会について

野口理事から、ポスターにより、2009年のノーベル化学賞受賞者である Ada E. Yonath 氏による特別講演会を12月11日(土)に開催することの案内があった。

(2) 平成23年度予算について

学長から、11月10日から開始された平成23年度予算の特別枠にかかる要望ヒアリングの様子について報告があった。

(3) 会計検査院の現地検査について

財務課長から、12月8日から12月10日までの3日間において、会計検査院の現地検査が行われ、場合によっては現地調査が行われることが予測されることから、教職員の適正な対応について依頼があった。

(4) 対外行事の実施について

佐久間理事から、大学施設開放や教育研究活動紹介等の国立大学が実施する対外活動に係る国立大学協会の調査結果において、本学の報告件数が実質より少なく報告されており、他大学に比較して本学の地域社会への貢献度が少ない印象を持たれることが懸念されたことから、今後は本学が実施する対外活動については、総務・企画課へ連絡願いたいとの依頼があった。

次回教育研究評議会は平成22年12月15日(水)午後1時から開催することとして散会。

以 上